

より良く生きる ―出居清太郎先生の世界― 第5回

山本博也

(1)米や水や空気の味

柿の時節で、今が柿の最もおいしい時である。柿のうまさ、これは文字に書き表しようがない。これは天地自然の甘露の味である。

人間のつくる料理には、甘いこともあるし、辛いこともある。砂糖や塩加減が必ずしも同じようにならない。天地自然の味にはそれがない。いつ食べてもおいしい。ことに米や水や空気の味になると、七十年食べ続け、飲み続け、吸い続けて

もあきることがない。そこには、いのちの親の“まこと”が込められている。

われわれの人生行路には、悲しいことも辛いこともある。しかし、これはすべて、心の味わい方一つによって決まる。どのようなことも“おいしく”いただけようような心になるよう、われわれは日夜勉強しているのである。

何でも、おいしく喜んでいただけのが“まこと”であり、そこに“いのち”の養いがある。

(出居清太郎先生の言葉から)

野菜などはいろいろな料理に使われ

ますが、どういう料理であれ、茄子は茄子の味がするし、大根は大根の、人参は人参の味がします。つまりその味がその野菜の“いのち”なのでしよう。

その“いのち”をいただいで、私たちは自分の命を養い、健康を維持しているということになります。

ところで私たちは、生物としてのヒトであると同時に、人格をもった人間です。生物としての命が食物によって養われるとして、では人間としての人格は何によって養われるのでしょうか。

それは、人とのつき合いや、事件との遭遇や、本との出会いなど、いろいろな出来事によってではないでしょうか。

命は食物によって養われる。

人格は出来事によって養われる。

ところが両者のメカニズムには大きな違いがあるようです。

食物は、それを食べれば、そのまま栄養分がいただけます。

しかし出来事は、出来事に会ったからといって、そのまま栄養分がいただけるとではないようです。栄養分をいただくためには、そのためのいわばパワードが必要なようです。

そのパワードが“おいしく”いた



カット 大西 恵

だくこと、つまり出来事に対して、真摯に、謙虚に、温かく、感謝をもって対応するということですよ。ですから出来事を粗略に、不平を鳴らして扱えば、少しも栄養にならないということになります。

筆者などは、食べ物に好き嫌いがあつて、何でもおいしそうに食べる友人を見ると羨ましい限りですが、出来事に対しては、できるだけ何でも「おいしく」いただきたいものと思います。

(2) 同じような一日だが

立派な人生を歩んでいる人も、だんだん落伍していつている人も、やはり三度の食事をし、仕事をしたり遊んだりしている。人生はほとんどこんな一日から成り立っています。ちよつと見た目には、

二人の一日に大差はありません。それがいつしか大きな差になる。

それはやはり、生活の一コマ一コマが、魂と心と肉体の生成発展になっているかどうかの違いなのです。お酒一杯飲むにしても、心身を養ったか暴飲になったかの違いです。苦しい時にもほほえみを失わなかったかどうかの違いです。

ガンと宣告され、残り少ない毎日を大切に生きた方の記録があります。しかし、明日のある今日一日も、明日のない今日一日も、その大切さに変わりはありません。かけがえのない今日一日を、新しく修め養うよう努力しなければならぬのです。

(出居清太郎先生の言葉から)

昨年来の新型コロナウイルス感染状況が続いています。緊急事態宣言が繰り返され、多くの方がたいへんなご苦労をされています。私たちの日常生活にも普段とは違いう対応が求められています。

そういう状況を、私たち市民が選んだわけではありません。ですがそういう状況の中で私たちは生活しなければなりません。(そういう状況を生んだ社会のしくみを改善することも必要ですが、改善されるまではその状況の中で生きるしかありません。)

ただ、そうした中で生きる私たちの活動の一コマ一コマを考えてみれば、人の会話であったり、物を扱うことであったりであることには変わりありません。その一瞬一瞬の言語動作の積み重ねが

生活であり、その中にしあわせの種まきがあるのではないでしょうか。

今回のオリンピックでは、次のようなエピソードがありました。

陸上男子110メートル障害のジャマイカの選手。準決勝の際、バスを乗り間違えて別の会場に着き、途方に暮れていた時、大会スタッフの一人が、その選手に声をかけて事情を知り、タクシーを呼び、タクシー代を出して、本来の会場に向かわせた。選手は競技に間に合い、最終的には金メダルに輝いた。

オリンピックという巨大な出来事も、そんな一コマ一コマの集積に違いありません。

発行所 〒170-0011 東京都豊島区池袋本町3-11-1

修養団捧誠会 TEL 03-3971-1493